

平成30年度さいたま市風しん抗体検査のご案内

さいたま市では、下記の要件を満たす方に対し、風しん抗体検査を実施します。

1. 対象者

検査日時点でさいたま市に住民登録があり、①～④のすべてに該当する方

- ① 妊娠を希望する女性
- ② 16歳以上50歳未満
- ③ これまでに風しんの予防接種や抗体検査を受けたことが無い方
- ④ これまでに「検査等の結果による風しんの確定診断」を受けたことが無い方

※ 男性は、検査日時点でさいたま市に住民登録があり、「さいたま市風しん抗体検査の対象となり得る妊娠を希望している女性」もしくは「風しん抗体価が低い妊婦」の配偶者かつ同居者で、上記③④を満たす方に限ります。

2. 実施期間 平成30年4月27日（金）～平成31年3月9日（土）

3. 検査場所 さいたま市抗体検査実施医療機関（必ず電話で予約をしてください）

4. 検査費用 無料（全額さいたま市が負担します）

5. 必要な物

- ・風しん抗体検査依頼書（実施医療機関に用意してあります）
- ・健康保険証または、生活保護受給証
- ・さいたま市民であることを証明する書類（運転免許証、水道・電気料金等公共料金の請求書等）
- ・ご自身の母子健康手帳（持っている場合）
- ・お子さんの母子健康手帳等妊娠時の風しん抗体検査の有無を確認できるもの（持っている場合）

6. 検査回数 1回

※風しん抗体検査のための採血を受けた後、検査結果の説明を受けるために、医療機関へ再度お越しいただくことになります。

（郵送、電話等により説明を受けることはできません）

7. 注 意

既に風しんまたは麻疹・風しん混合ワクチンの予防接種を受けたことがある方、妊婦健診等で風しん抗体検査を受けたことがある方、検査等の結果による風しんの確定診断を受けたことがある方は当事業の対象外です。

◆◆◆ 詳しくは、下記各区役所保健センターへお問い合わせください ◆◆◆

西 区保健センター	TEL620-2700	FAX620-2769	桜 区保健センター	TEL856-6200	FAX856-6279
北 区保健センター	TEL669-6100	FAX669-6169	浦和区保健センター	TEL824-3971	FAX825-7405
大宮区保健センター	TEL646-3100	FAX646-3169	南 区保健センター	TEL844-7200	FAX844-7279
見沼区保健センター	TEL681-6100	FAX681-6169	緑 区保健センター	TEL712-1200	FAX712-1279
中央区保健センター	TEL853-5251	FAX857-8529	岩槻区保健センター	TEL790-0222	FAX790-0259

風しん抗体検査を希望される方へ

1. 風しんとは

風しんは患者さんの咳やくしゃみで飛び散るしぶき（飛沫：ひまつ）を介して感染するウイルス感染症です。風しんウイルスに対する免疫が無い方が感染し、2～3週間の潜伏期間の後に、発熱、発疹、リンパ節の腫れといった症状で発症します。通常、子どもでは3日程度で治る病気ですが、まれに、血小板減少性紫斑病（3,000人に1人）、脳炎（6,000人に1人）といった重い合併症がみられることがあります。また、感染しても症状が出ない場合（不顕性感染）が15%から30%あると考えられています。

2. 大人が風しんにかかった場合の特徴

関節痛がひどいことも特徴と言われています。1週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。

3. 妊娠初期に風しんにかかった場合

妊娠20週頃までの特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、お腹の赤ちゃんも風しんウイルスに感染し、先天性風しん症候群とよばれる病気を持って生まれてくる場合があります。先天性風しん症候群とは、生まれつきの心臓病、目がよく見えない、耳がよく聞こえないといった、心臓、目、耳などに色々な組み合わせで障害をもつことがある病気です。妊娠週数が早いほど発生頻度が高く、逆に、妊娠5～6か月（妊娠20～24週）を過ぎるとほとんどなくなると考えられています。

夫やお子様など身のまわりの方が、妊婦さんの感染原因となりがちなことから、妊婦さんの周囲の方が、予防接種を受けるなど、風しんにかからないようにすることも大切です。

4. 日本における風しんの流行状況

最近では、平成24年から平成25年に風しんの流行がありました。この流行の影響で、平成25年の先天性風しん症候群の報告は32例で、平成11年に統計を取り始めて以来、最多となりました。

国立感染症研究所ホームページより（平成30年3月28日現在）

5. 風しんウイルスに対する免疫

風しんとよく似た症状の病気はいろいろあり、風しんにかかったことがある記憶だけで免疫があると考えるのは危険です。

逆に、不顕性感染があるので、風しんにかかったことが無い方でも、十分な免疫を持っていることがあります。また、風しんの定期予防接種が2回になる前は数年に一度、近年でも平成24年から25年に流行がありました。このため、成人では、いつの間にか十分な免疫を持っている方がたくさんいます。国が実施している感染症流行予測調査の平成28年度調査の結果（暫定値）によると、成人の8割の方が十分な免疫を持っていることが判っています。

6. 風しんの予防

発疹症状の出ている方や症状が出る数日前の方、不顕性感染をしている方が感染源となるとみられています。風しんの特効薬は存在しません。予防接種によって感染前に免疫をつけることが最も有効な予防策です。